

**FRONTEO、「第3回 AI・人工知能 EXPO」へ出展し
業務活用シーンが広がる KIBIT ソリューション群を紹介**
**社内ITヘルプデスク・管理部門への問い合わせ対応に活用できる
Q&Aシステムの最新版「Find Answer 19」も紹介**

独自開発のAIエンジン「KIBIT（キビット）」を提供する株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）は、4月3日（水）～4月5日（金）に東京ビッグサイト青海展示棟にて開催される「第3回 AI・人工知能EXPO」に出展します。

AI・人工知能EXPOは、日本最大の人工知能専門展として注目され、回を重ねるごとに
出展社数・来場者数ともに増加しています。3回目の開催となる今回は、人工知能関連の
要素技術やアプリケーション、サービスを提供する250社による展示が予定されています。

FRONTEOが紹介するテキスト解析AI「KIBIT」は、ビジネスの現場で実績を重ねており、短時間かつ少量の教師データで実践的な成果が得られる点が高く評価されています。今回のブースでは、データ活用の重要度が増す中、各企業の期待・関心が特に高い「お客様の隠れた要望を検知（営業・売上向上支援ソリューション）」、「リスク表現の見逃し防止（コンプライアンス強化ソリューション）」、「サポート業務でのナレッジ活用（社内業務効率化）」の3テーマにエリアを分け、ご来場の皆様の課題・AI活用目的に応じた「KIBIT」の活用事例をご案内し、「業務活用シーンが広がるAI」を実感いただきます。

また、登録者権限設定やデータ登録等に関する機能を強化し、3月18日に提供を開始したQ&Aシステムの最新版「Find Answer 19」についても、「社内業務効率化」エリアにてご紹介する予定です。

Find Answer 19

KIBITを搭載したQ&Aシステム

開催概要

名 称	第3回 AI・人工知能EXPO（AI EXPO TOKYO 2019）
会 期	2019年4月3日（水）～4月5日（金）10:00～18:00
会 場	東京ビッグサイト（青海展示棟）
ブース番号	6-1
出展内容	人工知能エンジン「KIBIT」を活用した各種ソリューションをご紹介
公式サイト	http://www.ai-expo.jp/



■Find Answerについて

人工知能が自然文から質問の意図を読み取り、求められる回答を高精度かつ迅速に提示するQ&Aシステム。

製品に関する詳細は以下のページをご覧ください。

<http://www.kibit-platform.com/products/find-answer/>

■KIBITについて

「KIBIT」は人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせ、FRONTEOが独自開発した日本発の人工知能エンジンです。人間の心の「機微」(KIBI)と情報量の単位である「ビット」(BIT)を組み合わせ、「人間の機微を学習できる人工知能」を意味しています。テキストから文章の意味を読み取り、人の暗黙知や感覚を学ぶことで、人に代わって、判断や情報の選び方を再現することができます。

■FRONTEO について URL: <http://www.fronteo.com/>

株式会社FRONTEOは、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行うeディスカバリ(電子証拠開示)や、デジタルフォレンジック調査を支援する企業として2003年8月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View (リット・アイ・ビュー)」、日・中・韓・英の複数言語に対応した「Predictive Coding (プレディクティブ・コーディング)」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。このリーガル事業で培われ、発展した「KIBIT」を始めとする独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現します。ヘルスケアやビジネスインテリジェンスなどの領域に展開し、FinTechやRegTechに加え、「働き方改革」でも実績をあげています。2007年6月26日東証マザーズ、2013年5月16日NASDAQ上場。資本金2,507,346千円(2018年3月31日現在)。2016年7月1日付けで株式会社UBICより現在の社名に変更しております。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 FRONTEO 広報担当 高橋、河本

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com